

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和5年度

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	2 健やかな子育て・子育て環境づくり
施策関係課	(子ども部)子ども総務課・子育て支援課・子育て相談課・保育運営課・保育幼稚園課・青少年対策室／(保健部)地域保健センター／(学校教育部)学務課・指導課

●施策の基本方針(目標)

健やかな子どもの成長を支え、子育て・子育てといえば川口市と言われるような、安心して楽しい子育て・子育て環境を整えます。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査: I-2)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	38.3(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	38.000	39.100	33.600	0.000		
指標②	名称	保育所等の待機児童数				単位	人
	目標値	0(令和7年度)		現状値	38(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	30.000	19.000	10.000	0.000		
指標③	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和7年度計画額
	事業費	21,689,838	23,041,898	24,638,067	24,968,766	27,141,896
	概算人件費	563,324	578,799	637,981	609,377	610,187
	総事業費	22,253,162	23,620,697	25,276,048	25,578,143	27,752,083

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策① 54	単位施策② 56	単位施策③ 55	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	A			55.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 子育て支援の充実								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
子育て支援対策事業	子ども部	25,860	57,305	57,840	78,938	78,938	50	現状維持で実施
	子育て支援課	3,160	3,080	7,110	4,860	4,860		
私立幼稚園支援事業	子ども部	2,557,337	2,371,973	2,168,383	2,128,762	1,966,424	56	現状維持で実施
	保育幼稚園課	15,800	15,400	15,800	15,800	15,800		
出産・子育て応援事業	保健部	—	279,923	576,570	457,536	408,000	58	拡充して実施
	地域保健センター	—	16,590	16,775	17,205	17,205		
社会福祉審議会経費	子ども部	148	330	234	530	641	56	拡充して実施
	子ども総務課	7,900	7,700	7,900	8,100	8,100		
子ども・子育て支援事業計画推進事業	子ども部	—	—	8,747	7,515	—	56	拡充して実施
	子ども総務課	—	—	7,900	8,100	—		
ひとり親家庭等医療費支給事業	子ども部	226,709	219,483	239,459	243,042	243,042	50	現状維持で実施
	子育て支援課	7,900	15,400	15,800	16,200	16,200		
ひとり親家庭相談事業	子ども部	8,385	9,048	9,662	10,421	10,421	52	現状維持で実施
	子育て支援課	2,370	3,080	3,160	3,240	3,240		
子育てサポートプラザ事業	子ども部	54,530	59,778	58,313	63,609	63,609	56	現状維持で実施
	子育て支援課	3,555	3,465	2,370	2,673	2,673		
おやこの遊びひろば事業	子ども部	40,040	41,472	40,399	41,213	41,213	58	現状維持で実施
	子育て支援課	2,607	2,541	2,765	2,592	2,592		
子育て支援センター事業	子ども部	8,570	9,727	9,676	9,407	9,407	58	現状維持で実施
	子育て支援課	2,054	2,002	1,817	2,916	2,916		
ファミリー・サポート・センター事業	子ども部	28,716	23,777	27,080	28,435	28,435	58	現状維持で実施
	子育て支援課	790	770	2,449	3,159	3,159		
子ども医療費支給事業	子ども部	1,961,298	2,063,204	2,494,230	2,592,819	2,592,819	50	拡充して実施
	子育て支援課	39,500	38,500	39,500	40,500	40,500		
母子父子寡婦福祉資金貸付金	子ども部	80,533	74,864	76,807	116,446	116,446	50	現状維持で実施
	子育て支援課	19,750	15,400	15,800	16,200	16,200		
母子生活支援施設入所委託事業	子ども部	—	3,594	28,481	43,254	43,254	56	現状維持で実施
	子育て相談課	—	7,700	7,900	8,910	8,910		
母子等緊急一時保護事業	子ども部	—	78	137	620	620	52	現状維持で実施
	子育て相談課	—	4,620	4,740	4,860	4,860		
家庭児童相談事業	子ども部	33,616	39,789	43,080	355	639	52	縮小して実施
	子育て相談課	70,310	60,830	70,310	70,470	70,470		
子育て短期支援事業	子ども部	66	373	830	1,566	1,907	54	現状維持で実施
	子育て相談課	11,060	10,780	11,060	11,340	12,150		
乳児家庭全戸訪問事業	子ども部	2,926	2,115	5,704	—	—	52	他事業に統合されて実施
	子育て相談課	34,840	33,750	34,050	—	—		
発達相談支援事業	子ども部	42,856	42,126	46,702	51,411	57,763	52	現状維持で実施
	子育て相談課	91,140	89,020	91,140	85,560	85,560		
子育て支援センター事業	子ども部	5,647	5,573	5,696	6,394	6,394	56	現状維持で実施
	保育運営課	7,900	7,700	7,900	8,100	8,100		
子どもの生活・学習支援事業	子ども部	83,190	85,253	89,902	99,414	99,414	58	拡充して実施
	青少年対策室	2,370	3,388	3,476	3,564	3,564		
母子訪問指導事業	保健部	12,970	18,863	13,751	13,955	14,448	58	拡充して実施
	地域保健センター	37,920	36,960	25,808	27,687	27,687		
母子健康教室事業	保健部	1,041	1,457	1,778	1,988	2,663	52	現状維持で実施
	地域保健センター	25,280	24,640	25,280	28,254	28,254		
要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	学校教育部	244,582	239,024	233,857	273,718	273,718	56	拡充して実施
	指導課	15,800	15,400	15,800	16,200	24,300		

単位施策名 ② 保育環境の充実								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
病児・病後児保育事業	子ども部	33,193	45,063	59,670	60,498	60,498	56	現状維持で実施
	子育て支援課	790	770	3,792	3,240	3,240		
保育所運営費	子ども部	1,203,124	1,204,988	1,219,494	1,313,669	1,313,669	58	現状維持で実施
	保育運営課	23,700	23,100	23,700	24,300	24,300		
民間保育所運営費	子ども部	660	605	537	682	682	52	現状維持で実施
	保育運営課	1,580	1,540	1,580	1,620	1,620		
保育所指定管理者管理運営費	子ども部	1,776,834	1,962,868	2,062,330	2,036,615	2,200,834	58	現状維持で実施
	保育幼稚園課	15,800	15,400	15,800	15,800	15,800		
民間保育所運営費	子ども部	11,569,207	12,494,945	13,189,977	13,437,998	15,499,202	56	現状維持で実施
	保育幼稚園課	31,600	30,800	31,600	31,600	31,600		
認可外保育施設事業	子ども部	858	842	804	1,092	936	54	現状維持で実施
	子ども総務課	790	770	790	810	810		
認可外保育施設事業	子ども部	—	—	473	758	758	52	現状維持で実施
	保育運営課	—	—	7,900	8,100	8,100		
子育てのための施設等利用給付事業	子ども部	109,950	106,506	99,985	66,180	63,144	58	現状維持で実施
	保育幼稚園課	15,800	15,400	15,800	15,800	15,800		
認可外保育施設事業	子ども部	52,096	31,561	21,022	14,940	15,010	56	現状維持で実施
	保育幼稚園課	7,900	7,700	7,900	7,900	7,900		
管外保育事業	子ども部	189,788	168,005	232,600	167,030	225,839	56	現状維持で実施
	保育幼稚園課	9,480	9,240	9,480	9,720	9,720		
家庭保育室事業	子ども部	17,214	4,702	4,640	—	—	56	廃止
	保育幼稚園課	7,900	7,700	7,900	—	—		

単位施策名 ③ 児童の健全な育成								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
ヤングケアラー支援事業	子ども部	—	—	4,629	10,060	8,678	52	現状維持で実施
	子育て相談課	—	—	7,900	8,100	8,100		
放課後児童健全育成事業	子ども部	—	—	1,484	360	360	52	効率化して実施
	青少年対策室	—	—	2,528	1,458	1,458		
児童センター指定管理者管理運営費	子ども部	65,845	65,845	65,845	65,845	65,845	58	現状維持で実施
	青少年対策室	3,081	3,003	3,081	3,159	3,159		
アドベンチャープレイ事業	子ども部	8,646	8,971	13,051	10,522	10,522	54	現状維持で実施
	青少年対策室	2,370	5,236	5,372	5,508	5,508		
鳩ヶ谷こども館事業	子ども部	15,807	15,917	15,617	13,238	15,704	56	現状維持で実施
	青少年対策室	1,027	924	948	972	972		
放課後児童クラブ施設運営費	学校教育部	1,227,596	1,281,951	1,408,591	1,497,931	1,600,000	58	拡充して実施
	学務課	39,500	38,500	55,300	64,800	64,800		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子育て支援対策事業				担当	子ども部
						子育て支援課
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	258-1113	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実
根拠法令等	赤ちゃんにっこり応援事業実施要綱、川口市赤ちゃんにっこり応援倍増ポイント実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・乳児・保護者ともに川口市に住所を有し、1歳未満の乳児を養育している保護者 ・申請者(乳児)の保護者として応援金の交付決定を受けた者でマイナンバーカードを保有している者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・「みんなでつくる川口の元気」の実現に向け、子育て世代が住みやすいまちづくりの推進をすること。 ・自治体マイナポイントを通じて更なる経済的支援とマイナンバーカードの普及を促進すること。	支給対象者に対して、乳児1人につき1万円を支給し、当該受給者がマイナンバーカードを利用した申請により、更に1万円相当のポイントを付与する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・対象乳児1人につき1万円を支給。 ・令和5年9月7日より自治体マイナポイント事業を開始	出産又は育児には様々な費用がかかることから、本助成金は保護者の負担軽減となり、子育て世代が住みやすいまちづくりを推進する一助となった。また、自治体マイナポイント事業を通じて、乳児とその保護者である申請者のマイナンバーカードの普及及び更なる経済的支援の一助となった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	赤ちゃんにっこり応援金支給者数				指標・目標値の説明(算定式)	年間出生数を踏まえ目標値を設定。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		3,330.00		4,868.00		4,000.00		4,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	1,963.00	未達成	4,830.00	未達成	4,227.00	達成					
指標②	名称	ポイント付与件数				指標・目標値の説明(算定式)	当初予算時の申請見込み件数					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		0.00		0.00		3,000.00		3,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	0.00	未達成	0.00	未達成	1,041.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	1 細々目	子育て支援対策事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		27,643		58,871		62,711		78,938		78,938	
決算額(B)=(C)+(D)		25,860		57,305		57,840					
財源※	特定財源(C)	4,803		7,321		1,455		2,250			
	一般財源(D)	21,057		49,984		56,385		76,688			
概算人件費(E)		3,160		3,080		7,110		4,860		4,860	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.90	0.00	0.60	0.00
										0.60	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		29,020		60,385		64,950		83,798		83,798	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	(赤ちゃんにっこり応援金) 少子高齢化が進む中、社会全体で子育て世帯の育児を支援する取り組みとして有効であった。今後電子申請の積極的な活用や業務の効率化を図り、速やかな支援の実施に努める。(倍増ポイント事業) 応援金受給者のうち、約3割の申請者であった。今後は費用対効果を考慮し、事業の在り方を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	私立幼稚園支援事業				担当	子ども部 保育幼稚園課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	271-9336	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	37	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	子ども・子育て支援法、川口市私立幼稚園設備資金借入利子助成に関する条例、各種補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	私立幼稚園に通園する園児の保護者及び市内私立幼稚園	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	幼児教育の振興に資するため、私立幼稚園へ通う園児を持つ保護者や私立幼稚園協会等に補助金を交付するもの。また、幼児教育・保育の無償化の実施により、保護者の経済的負担軽減を図るもの。	・私立幼稚園へ通園する保護者への補助金交付 ・私立幼稚園への補助金交付 ・施設等利用費の給付・施設等利用給付認定処理 ・副食材料費に係る実費徴収補足給付事業費補助金交付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	各補助金における対象者に対して、速やかに補助金の支出を行った。	私立幼稚園に通園する園児の保護者に対し、経済的負担軽減を図るとともに教育内容の充実と資質の向上を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	3 項	13 目	1 細目	1 細々目	私立幼稚園支援事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			2,580,016		2,408,879		2,213,796		2,128,762		1,966,424		
決算額(B)=(C)+(D)			2,557,337		2,371,973		2,168,383						
財源※	特定財源(C)		1,801,908		1,635,220		1,474,056		1,466,086				
	一般財源(D)		755,429		736,753		694,327		662,676				
概算人件費(E)			15,800		15,400		15,800		15,800		15,800		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			2,573,137		2,387,373		2,184,183		2,144,562		1,982,224		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
56 ／60	令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化により、保護者の経済的負担軽減が図られている。今後は、無償化による保育需要の影響を注視する必要がある、また、幼稚園の認定こども園への移行を促進するなど、より効率的な事業運営を検討していく必要がある。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	出産・子育て応援事業				担当	保健部
						地域保健センター
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先		新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	妊娠の届出し、面談を受けた妊婦。出生した児童の養育者であって、面談を受けた者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即して必要な支援につなぐ伴走型相談支援を推進する。	・妊娠届出時から妊婦や子育て家庭に対し、出産・育児等の見通しを寄り添って立てるための面談や継続的な情報発信をする。 ・妊娠届出時及び出産届時に経済的支援を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	妊娠届出時から妊婦や子育て家庭に対し、出産・育児等の見通しを寄り添って立てるための面談や継続的な情報発信し、妊娠届出時及び出生届時に経済的支援を実施した。	妊娠期からの伴走型相談支援により、出産・育児等に見通しが立ち、妊婦等の孤立感・不安感が軽減されるとともに、経済的支援と組み合わせた形で実施することで必要な支援が子育て家庭に届けられた。地域の身近な子育て世代包括支援センターで、妊娠期から出産、子育て期まで母子保健施策と子育て施策の切れ目ない支援を一体的に提供できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	妊娠8か月頃アンケート回答率			指標・目標値の説明(算定式)	アンケート回答数÷アンケート送付数				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		—	0.00	60.00	65.00	70.00				
	実績値・達成状況	—	0.00	59.77	未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計						出産・子育て応援事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		0		466,155		580,775		457,536		408,000	
決算額(B)=(C)+(D)		0		279,923		576,570					
財源※	特定財源(C)	0		179,496		538,624		377,258			
	一般財源(D)	0		100,427		37,946		80,278			
概算人件費(E)		0		16,590		16,775		17,205		17,205	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	2.10	0.00	2.10	0.05	2.10	0.05
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		296,513		593,345		474,741		425,205	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
58 ／60	妊娠8か月頃アンケートを令和5年5月から開始したことで早期に支援が必要な妊婦を把握することができた。回答率が低いことが課題であり周知を徹底する。令和6年度より、妊娠届出場所をこども家庭センターに一本化したことにより、保健師等専門職との面談が必須となり、出産子育て応援金の申請がより円滑に行えるようになった。				翌年度	拡充して実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	社会福祉審議会経費				担当	子ども部
						子ども総務課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	252-0270	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実
根拠法令等	社会福祉法、子ども・子育て支援法、児童福祉法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等(子ども、妊婦、子育てに携わる市民) 団体等(保育事業者、子育て支援関連団体)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備、地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施の確保、その他子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するため。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ①社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催、及び調査審議 ②社会福祉審議会児童福祉専門分科会施設認可部会の開催、及び調査審議 ③社会福祉審議会児童福祉専門分科会(仮称)子ども条例検討部会の開催、及び調査審議	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 社会福祉審議会児童福祉専門分科会を3回開催し、第2期川口市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況や(仮称)川口市子ども計画策定に向けての審議を行った。施設認可部会を1回開催し、民間保育所等の設置認可等について審議を行った。(仮称)子ども条例検討部会を1回開催し、当該条例の制定に関する審議を行った。	事業の成果【定性的評価】 計画の進捗管理を行い、より質の高い教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の提供を図ることができた。さらに、(仮称)川口市子ども計画策定に向けてのニーズ調査を完了した。また、施設認可部会にて調査審議を行い、安全・安心な保育施設の整備を行うことができた。また、(仮称)子ども条例検討部会の審議を経て、当該条例を制定した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	1 項	1 目	3 細目	3 細々目	社会福祉審議会経費			
年度		令和3年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		670		641			530		530		641	
決算額(B)=(C)+(D)		148		330			234					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0			0		0			
	一般財源(D)	148		330			234		530			
概算人件費(E)		7,900		7,700			7,900		8,100		8,100	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,048		8,030			8,134		8,630		8,741	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	令和6年度は、第2期川口市子ども・子育て支援事業計画に基づく事業の進捗管理に加え、(仮称)川口市子ども計画の策定に向けて必要な調査や審議を行う。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子ども・子育て支援事業計画推進事業			担当	子ども部 子ども総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	252-0270	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 5 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等(子ども、妊婦、子育てに携わる市民) 団体等(保育事業者、子育て支援関連団体)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民・企業・関係団体等と協力・連携して、より質の高い教育・保育の提供とともに、すべての子どもが健やかに成長する子育て環境づくりに取り組む。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 令和2年3月策定の「第2期川口市子ども・子育て支援事業計画」の計画期間が終了することから、子育て支援に関するニーズ調査や子ども・若者に対する調査等を実施し、次期計画として(仮称)川口市子ども計画を策定する。 なお、次期計画は、こども基本法に定める市町村こども計画等と一体のものとして策定する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) (仮称)川口市子ども計画策定のための基礎資料とするため、子ども・子育て支援に関するニーズ調査、子どもの生活実態調査、子ども・若者意識調査を実施した。	事業の成果【定性的評価】 同左	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	3 款	3 項	1 目	2 細目	1 細々目	子ども・子育て支援事業計画推進事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	0	0		9,900		7,515		0		
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		8,747						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	0		8,747		7,515				
概算人件費(E)		0		7,900		8,100		0		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		16,647		15,615		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	業務委託先の業務スケジュールに遅延が生じることがあるので、スケジュール管理を適切に行う。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	ひとり親家庭等医療費支給事業			担当	子ども部	
					子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1114	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	5	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	ひとり親家庭等医療費支給事業実施要綱(埼玉県)、川口市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・ひとり親家庭等の18歳年度末までの児童とその母(父)または養育者(一定の障害がある児童は20歳未満まで)	・ひとり親家庭等の18歳年度末までの児童を監護しているその母(父)または養育者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・ひとり親家庭等に対し医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、もってひとり親家庭等の福祉の増進を図る。	・医療保険の適用される医療費のうち、その保険適用後の一部負担金(医療費の3割等)から高額療養費、附加給付及び他法負担分、自己負担金等を控除した額を支給するもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	ひとり親家庭等の18歳年度末までの児童(一定の障害がある場合は20歳未満まで)と、その児童を看護、養育している母又は父、養育者を対象として、医療機関を受診した時の保険診療の自己負担分を助成した。	ひとり親家庭等の経済的、精神的負担の軽減が図れたことから、活動の成果は大きいと思われる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	2 目	3 細目	2 細々目	ひとり親家庭等医療費支給事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		237,155		224,621		245,078		243,042		243,042		
決算額(B)=(C)+(D)		226,709		219,483		239,459						
財 源 ※	特定財源(C)	100,402		96,440		104,730		107,368				
	一般財源(D)	126,307		123,043		134,729		135,674				
概算人件費(E)		7,900		15,400		15,800		16,200		16,200		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		234,609		234,883		255,259		259,242		259,242		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	ひとり親家庭等の親または養育者は、生活面や経済面で様々な困難を抱えているため、医療費を支援する取り組みは有効であると思われる。持続可能な事業とするため、ジェネリック医薬品の使用や適性受診の協力などを周知し、扶助費を抑制していくことが課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	ひとり親家庭相談事業			担当	子ども部 子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1114	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	ひとり親家庭の親及び子		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ひとり親のかたが抱えている問題を把握し、自立に向けた支援を行うことを目的とする。		ひとり親家庭からの相談を受け、必要な支援の案内等を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	電話や窓口等で、ひとり親家庭のかたが抱える悩みや不安に関する相談を受け付け、情報提供や必要となる支援の紹介等を行った。		ひとり親家庭からの相談に基づき、ひとり親家庭自立支援給付金や母子父子寡婦福祉資金貸付金等の必要な支援につなげることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自立支援給付金新規申請件数				指標・目標値の説明(算定式)	ひとり親のかたが行った、新たな自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金の申請件数					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	29.00		23.00		—		28.00				
指標②	名称	母子父子寡婦福祉資金貸付金新規申請件数				指標・目標値の説明(算定式)	ひとり親のかたが行った、新たな母子父子寡婦福祉資金貸付金の申請件数					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	134.00		—		84.00		—		32.00		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	2 目	6 細目	1 細々目	ひとり親家庭相談事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		8,980		10,164		10,015		10,421		10,421
決算額(B)=(C)+(D)		8,385		9,048		9,662				
財源※	特定財源(C)	0		147		540		390		
	一般財源(D)	8,385		8,901		9,122		10,031		
概算人件費(E)		2,370		3,080		3,160		3,240		3,240
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		10,755		12,128		12,822		13,661		13,661

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	ひとり親のかたが必要とする支援内容についての検討及び情報収集を継続的に実施し、様々な相談に対応できるように努めていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子育てサポートプラザ事業			担当	子ども部	
					子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1112	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	地域子育て支援拠点事業実施要綱、子ども・子育て支援交付金交付要綱等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	委託先:社会福祉法人 川口市社会福祉協議会		乳幼児及び保護者等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	安心して子育てのできる環境を整備すること。		乳幼児をもつ親と子どもが気軽に集い、情報交換や育児相談などを行う場を設けること。 多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握し、各種媒体を活用した利用者への情報提供、利用援助等の支援を行うこと。 関係機関の連携強化など。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・子どもを遊ばせ、情報交換等の交流が出来る「つどいの広場」の開催 ・利用者支援窓口を設置し、子育て情報の提供や子育てのみならず包括的な相談への対応 ・関係機関や地域子育て拠点等との連携を強化する為の連絡調整会議の開催 など		子育て中の親の子育ての負担感を緩和し、安心して子育て・子育てができる環境を整備し、地域における子育て支援機能の充実が図られた。また、土曜開所の実施により、平日に利用できない親子が利用したことで、更なる充実が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	つどいの広場利用者数			指標・目標値の説明(算定式)	第5次総合計画の前年度である平成27年度の利用状況を勘案し、目標値を設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		41,000.00		41,000.00		41,000.00		41,000.00		0.00
	実績値・達成状況	20,595.00	未達成	20,573.00	未達成	29,041.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	2 細々目	子育てサポートプラザ事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		60,982		62,187		64,042		63,609		63,609
決算額(B)=(C)+(D)		54,530		59,778		58,313				
財源※	特定財源(C)	34,870		38,492		36,904		25,772		
	一般財源(D)	19,660		21,286		21,409		37,837		
概算人件費(E)		3,555		3,465		2,370		2,673		2,673
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.45	0.00	0.30	0.00	0.33
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		58,085		63,243		60,683		66,282		66,282

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	子育て家庭のニーズが多様化し個別ケースに対する適切な対応が求められていることから、情報収集、提供力を高め、関係機関との連携を強化していく。実施場所の移転に伴う利用者の地域属性の変化に注視するとともに、重層的支援体制整備事業で必須事業とされる取り組みを実施する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	おやこの遊びひろば事業				担当	子ども部	
						子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1112	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	地域子育て支援拠点事業実施要綱 子ども・子育て支援交付金交付要綱 埼玉県地域子育て支援拠点事業費補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	委託先:株式会社コマーム		原則として、0歳から3歳までの子どもと保護者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	地域における子育て機能の低下などから、子育てに不安を持つ母親が多く、しかも遊び場が少ないことから、子どもの遊び場を提供し、子育て相談などを実施し、子育てに対する不安を解消するとともに、子どもの健全育成を図ること。		・子どもを遊ばせる場所の提供 ・情報交換ができる場所の提供 ・相談や親子同士の交流の場所の提供 ・子育て支援に関する講習会の実施		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	各公民館、中央ふれあい館、安行・本町青少年センター、芝市民ホール、神根福祉センター、ふれあいプラザくら、ワークファンルームで保育士を1〜2人配置し、つどいのひろばを週1〜3日の午前又は午後開催。様々な子育て講座を実施し、大型商業施設では、ひろば事業を中心とした多様なイベント企画を年3回実施。		利用者にとっては身近なところで遊ぶ場所が確保され、子育て相談やコミュニケーションの場として子どもと関わりながら子育て不安の解消が図られた。利用者に実施したアンケートでは事業に関する好意的な意見が多い。また日頃の問い合わせも多くあそびの場の提供について高い評価を得ている。イベントにおいては多数の来場者数があった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数(おやこの遊びひろば)				指標・目標値の説明(算定式)	第5次総合計画の前年度である平成27年度の利用状況を勘案し、目標値を設定した。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		100,000.00		100,000.00		100,000.00		100,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	43,156.00	未達成	56,621.00	未達成	60,338.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	3 細々目	おやこの遊びひろば事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		41,850		41,533		42,281		41,213		41,213	
決算額(B)=(C)+(D)		40,040		41,472		40,399					
財源※	特定財源(C)	6,088		6,092		5,600		7,202			
	一般財源(D)	33,952		35,380		34,799		34,011			
概算人件費(E)		2,607		2,541		2,765		2,592		2,592	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.33	0.00	0.33	0.00	0.35	0.00	0.32	0.00
				0.33	0.00	0.35	0.00	0.32	0.00	0.32	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		42,647		44,013		43,164		43,805		43,805	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
58 /60	令和4年度から開始した大型商業施設でのイベントでは回を重ねるごとに来場者数が増加しており、大きな周知となつて踏まえ、イベント回数や会場数を増やす検討を行う。更にニーズ調査を踏まえ、同施設への拠点の常設化の研究を重ねる。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子育て支援センター事業			担当	子ども部	
					子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1112	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実
根拠法令等	地域子育て支援拠点事業実施要綱、子ども・子育て支援交付金交付要綱、埼玉県地域子育て支援拠点事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	委託先:株式会社コマーム	原則として0～3歳の子と保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	少子化や核家族化、地域住民相互のかかわりの希薄化などにより、孤立化や子育てに不安を持つ保護者が増加していることから、子どもの遊び場及び子育て親子同士の交流の場を提供するとともに、子育て相談や育児に関する講習会などを実施することで、子育てに関する不安を解消し、子どもの健全育成を図る。	・概ね0歳～3歳までの子どもと親の遊び場の提供 ・情報交換できる場の提供 ・地域子育て関連情報の収集及び提供 ・子育て等に関する相談の実施 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	つどいのひろばを月、水曜日から土曜日までの午前9時から午後4時まで開催。 南鳩ヶ谷保育所の2階あるため、保育所の休園日における園庭利用など保育所との連携が図れた。他属性の方を交えた各種講座、企画を実施し、地域づくりを視野に入れた事業運営を行った。	子育てに関する不安が解消されるとともに、子どもの健全育成が図られた。 土曜開所を通じて、これまで平日利用できなかったおやこに対する環境整備など多様なニーズに応えられた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数(子育て支援センター)				指標・目標値の説明(算定式)	定員数×開催日数×利用時間係数(開催時間6時間÷1組平均2時間利用)×稼働率係数45%、40人×240日×3.0×45%=12,960人					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		12,960.00		12,960.00		12,960.00		12,960.00		0.00		
	実績値・達成状況	7,600.00	未達成	12,231.00	未達成	13,006.00	達成					

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	4 細々目	子育て支援センター事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		8,651		9,729		10,034		9,407		9,407	
決算額(B)=(C)+(D)		8,570		9,727		9,676					
財 源 ※	特定財源(C)	5,798		5,798		6,232		6,794			
	一般財源(D)	2,772		3,929		3,444		2,613			
概算人件費(E)		2,054		2,002		1,817		2,916		2,916	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.26	0.00	0.26	0.00	0.23	0.00	0.36	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		10,624		11,729		11,493		12,323		12,323	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
58 ／60	本年度はコロナ禍による利用制限を解除したことで利用者数が増加した。支援拠点会場バランスを踏まえ、引き続き市内の拠点の設置の在り方を研究しつつ、重層的支援体制整備事業で必須事業とされる取り組みを実施する。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	ファミリー・サポート・センター事業				担当	子ども部	
						子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1112	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)実施要綱、子ども・子育て支援交付金交付要綱等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	委託先:社会福祉法人 川口市社会福祉協議会 :特定非営利活動法人病時保育を作る会 (緊急サポートセンター)		仕事と子育ての両立を希望する親及びその子。		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	仕事と子育ての両立を図り、地域での子育て支援機能を強化し、親が安心して子育てができる環境をつくる。		市内の子育ての援助を行いたい方(サポーター)と援助を受けたい方(サービス利用者)を会員として登録し、会員間の子育ての援助を支援する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・会員の募集及び登録その他会員組織に関する業務 ・援助活動の調整に関する業務 ・会員対象の研修及び交流会に関する業務 ・関係機関との連絡調整業務等		地域での子育て支援機能を強化し、親が仕事と子育ての両立を図り、安心して子育てができる環境作りができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会員数			指標・目標値の 説明(算定式)	より多くの市民が会員として登録することが、事業目的の達成につながるため、過去2ヵ年の実績値の平均増加率を基に算出した。					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		2,258.00		2,258.00		2,258.00		2,258.00		0.00	
	実績値・達成状況	2,494.00	達成	2,452.00	達成	2,376.00	達成				
指標②	名称	利用件数(ファミリー・サポート・センター)			指標・目標値の 説明(算定式)	第5次総合計画初年度の初年度である平成28年度の利用者数を基に目標値を設定した。					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		7,000.00		7,000.00		7,000.00		7,000.00		0.00	
	実績値・達成状況	5,317.00	未達成	6,173.00	未達成	7,048.00	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	5 細々目	ファミリー・サポート・センター事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		30,080		28,029		29,511		28,435		28,435
決算額(B)=(C)+(D)		28,716		23,777		27,080				
財源※	特定財源(C)	18,215		16,923		17,811		17,800		
	一般財源(D)	10,501		6,854		9,269		10,635		
概算人件費(E)		790		770		2,449		3,159		3,159
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.31	0.00	0.39
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		29,506		24,547		29,529		31,594		31,594

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	会員数は増減を繰り返しているが、活動件数は増加している。事業の継続には、サポーター会員の確保が必須であるため、定期的にサポーター会員の募集を行い増員を図るほか、既存会員の継続活動につながる体制の確保に向け交流会を開催するなど、サポーター会員・利用者がともに利用しやすい体制を整えていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子ども医療費支給事業			担当	子ども部	
					子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1113	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	乳幼児医療費支給事業補助金交付要綱(埼玉県)、川口市子ども医療費の支給に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・各種医療保険に加入している市内に住所を有する乳幼児および児童	・左記の乳幼児および児童を養育している保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにするため、子どもに対し、医療費の一部を支給することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進を図る。	・医療保険の適用される医療費のうち、その保険適用後の一部負担金から高額療養費、付加給付、他法負担分等を控除した額を支給するもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・小学校就学前の乳幼児(支給制限なし) ・小学校就学後から中学校修了前までの児童(税等の完納要件の支給制限あり) 上記の子どもが、医療機関等を受診した時の保険医療の自己負担分を保護者に助成した。 ・令和5年4月より、市内の接骨院等の施術について現物給付を開始。	子育て家庭の経済的、精神的負担の軽減が図れたことから、活動の成果は大きいと思われる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	12 目	2 細目	1 細々目	子ども医療費支給事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		2,036,433		2,115,887		2,627,530		2,592,819		2,592,819
決算額(B)=(C)+(D)		1,961,298		2,063,204		2,494,230				
財源※	特定財源(C)	275,056		287,718		350,654		686,115		
	一般財源(D)	1,686,242		1,775,486		2,143,576		1,906,704		
概算人件費(E)		39,500		38,500		39,500		40,500		40,500
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,000,798		2,101,704		2,533,730		2,633,319		2,633,319

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	子育て世帯の経済的負担の軽減を図るうえで、子ども医療費を支援する取り組みは有効であったと思われる。持続可能な事業とするため、ジェネリック医薬品の使用や適正受診の協力などを周知し、扶助費を抑制していくことや業務効率化を図りつつ、更なる利便性の向上を図っていくことが課題。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	母子父子寡婦福祉資金貸付金			担当	子ども部	
					子育て支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1114	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	20歳未満の児童を扶養するひとり親家庭の父母や父母のいない20歳未満の児童 等		貸付を受けたひとり親家庭の親又は児童	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ひとり親家庭の親等に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉の増進を図ることを目的とする。		資金を必要とするひとり親家庭等に資金を貸し付けることとあわせ、計画的な返済を行うよう促す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	各種資金の継続貸付を実施するとともに、新規の貸付申請に対して決定お余に貸付を行った。 また、償還に関する事務として、請求や督促等を行い、適切な収納事務に努めた。		様々な目的から、資金を必要とするかたへの貸付を行い、借受人等の目的達成に向けて支援を行うことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	新規貸付決定件数				指標・目標値の説明(算定式)	年度内に新たな貸付金の交付決定を行った件数					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	128.00		74.00	—	34.00						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計									
		1 款	1 項	1 目	2 細目	1 細々目	母子父子寡婦福祉資金貸付金				
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		107,000		155,000		145,000		116,446		116,446	
決算額(B)=(C)+(D)		80,533		74,864		76,807					
財源※	特定財源(C)	65,939		74,864		53,737		47,750			
	一般財源(D)	14,594		0		23,070		68,696			
概算人件費(E)		19,750		15,400		15,800		16,200		16,200	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.50	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	80,533		90,264		92,607		132,646		132,646	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	機会を捉えてひとり親家庭のかた等への周知を行い、貸付についての相談を受け、真に必要なとする資金の貸付を行うことによって、ひとり親家庭等への経済的な支援と自立の促進に寄与した。利用者数の増加に伴い、適正な管理が必要となる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	母子生活支援施設入所委託事業				担当	子ども部	
						子育て相談課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	児童福祉法第23条					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	母子生活支援施設		配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童とその母の生活支援を行い、自立の促進を行う。		児童を養育している配偶者のいない女性、またはこれに準ずる事情にある女性から申し込みがあった場合に、その者たちを母子生活支援施設に入所させ、自立に向けた支援を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・入所施設数 6施設 ・入所世帯数 7世帯 ・入所人員 延べ 152人		保護を必要とする母子世帯が母子生活支援施設に入所することで、施設とともに、その世帯の心身と生活を安定するための相談に対応し、自立に向けた支援をすることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	3 款	3 項	2 目	8 細目	1 細々目	母子生活支援施設入所委託事業			
年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	0	6,345			28,482		43,254		43,254	
決算額(B)=(C)+(D)	0	3,594			28,481					
財源※	特定財源(C)	0			14,502		21,631			
	一般財源(D)	0			13,979		21,623			
概算人件費(E)		0			7,900		8,910		8,910	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	1.00	0.00	1.10	0.00	1.10
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0			11,294		36,381		52,164	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	生活安定後は退所し、自立した生活を送ることができるよう支援していく必要がある中で、母の精神的不安児童の養育状況等によりなかなか自立に向けた支援に繋がらない事案が多い。今後も関係機関と連携し、退所後の生活に不安のないよう支援していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	母子等緊急一時保護事業				担当	子ども部
						子育て相談課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市と協定を結ぶ宿泊施設		やむを得ない事由により、居住又は宿泊等が困難で緊急的に宿泊場所の提供を必要とする、母子または父子。	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	やむを得ない事由により、緊急的に宿泊場所の提供を必要とする母子または父子の安全を確保することで、そのやむを得ない事由の解消を図り、安定した生活基盤づくりを支援する。		市と協定を結ぶ宿泊施設に、一時的に宿泊場所を失った母子・父子を宿泊させ、安定した生活基盤を築くための支援をする。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・一時保護人員 延べ33人		一時的に宿泊場所を失った母子・父子に対し宿泊場所を提供している間に、他の施策・制度につなげ、困難な状況にある世帯を支援することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	2 目	9 細目	1 細々目	母子等緊急一時保護事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		0		1,502		389		620		620
決算額(B)=(C)+(D)		0		78		137				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		78		137		620		
概算人件費(E)		0		4,620		4,740		4,860		4,860
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		4,698		4,877		5,480		5,480

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	世帯の安全確保が図られるよう、協定施設と必要な情報共有が適切に実施できるよう配慮していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	家庭児童相談事業				担当	子ども部
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 39 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実
根拠法令等	児童福祉法、家庭児童相談室設置運営要綱、児童虐待防止対策支援事業実施要綱等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 適切な児童の養育のために、助言や家庭環境の調整などの継続指導が必要な家庭。	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 社会の変動に伴う家庭生活の変化により、家庭では児童養育に関し複雑・多岐にわたる問題が発生している。児童の福祉向上のため、専門的な相談窓口を設け、適切な助言・指導を行う必要がある。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 虐待通告があった際には48時間以内の訪問を実施し、児童の安否確認を行う。また、家庭および児童にかかる相談に対し、関係機関との連絡調整や社会資源の活用を行い、適切な助言・指導を行う。虐待予防事業として、「ペアレント・トレーニング」などの子育て支援プログラムを実施。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 児童の養育等に関する相談、児童虐待の通告を受けて、当該家庭への支援を行う一方で、虐待予防事業として保護者対象の子育て支援プログラムを実施した。 ・新規相談件数 1,675件 ・年間延べ相談件数 29,118件	事業の成果【定性的評価】 児童の養育に問題等を抱えた家族を支援し、育児負担やストレスを軽減することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	5 目	2 細目	1 細々目	家庭児童相談事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		35,845		42,108		46,500		355		639		
決算額(B)=(C)+(D)		33,616		39,789		43,080						
財 源 ※	特定財源(C)	9,759		20,094		20,576		252				
	一般財源(D)	23,857		19,695		22,504		103				
概算人件費(E)		70,310		60,830		70,310		70,470		70,470		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.90	0.00	7.90	0.00	8.90	0.00	8.70	0.00	8.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		103,926		100,619		113,390		70,825		71,109		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	相談内容が複雑多様化している状況にあることから、引き続き個々の職員については、アセスメント力の向上や専門的知識の会得が求められている。令和6年度からこども家庭センターの設置に伴い、事業の大部分をこども家庭センター児童福祉事業へ移管した。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子育て短期支援事業				担当	子ども部	
						子育て相談課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	8	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	児童福祉法、子育て短期支援事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	済生会川口乳児院(2歳児まで) 富士見乳児院(2歳児まで) むつみ会(小学生以下) 川口市内の里親宅(18歳まで)		家庭における養育が一時的に困難となった18歳以下の児童とその保護者。		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合及び経済的な理由により緊急一時的に児童を保護することが必要な場合等に、児童福祉施設等において一定期間、養育・保護を行うことにより、これらの児童及びその家庭の福祉の向上を図る。		・対象児童を一週間程度乳児院等において養育する。 ・児童の保護者が仕事等の社会的な理由により帰宅が夜間になる場合、夕方から夜間にかけて一時的に乳児院において養育する。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・ショートステイ事業(里親)利用実績:48件・延べ135日 ・ショートステイ事業(施設)利用実績:なし ・トワイライトステイ事業利用実績:なし		ショートステイ利用期間中、児童を安全に養育・保護することができ、児童とその家庭の養育環境の向上を図ることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間の延べ利用日数(ショートステイ)			指標・目標値の説明(算定式)	子ども・子育て支援事業計画提供体制の確保状況							
	単位	日	指標の種別	結果									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
		10.00		10.00		10.00		10.00		176.00			
		実績値・達成状況		2.00 未達成		38.00 達成		135.00 達成					
指標②	名称	年間の延べ利用日数(トワイライトステイ)			指標・目標値の説明(算定式)	子ども・子育て支援事業計画提供体制の確保状況							
	単位	日	指標の種別	結果									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
		22.00		22.00		22.00		22.00		84.00			
		実績値・達成状況		0.00 未達成		0.00 未達成		0.00 未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	5 目	2 細目	2 細々目	子育て短期支援事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		428		583		832		1,566		1,907	
決算額(B)=(C)+(D)		66		373		830					
財源※	特定財源(C)	6		89		614		622			
	一般財源(D)	60		284		216		944			
概算人件費(E)		11,060		10,780		11,060		11,340		12,150	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40	0.00	1.50	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,126		11,153		11,890		12,906		14,057	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
54 ／60	市内里親19組と契約をしよう実績は上がったが、対象児童に発達課題がある場合に対応できる里親に限られるため、必ずしも利用希望に沿えない状況も生じている。そのような児童にも対応可能な里親との契約を模索しつつ、契約中の里親にも理解、協力を得られるよう働きかけをする必要がある。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	乳児家庭全戸訪問事業				担当	子ども部 子育て相談課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 22 年度 ～ 令和 5 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実
根拠法令等	児童福祉法第6条の3第4項、乳児家庭全戸訪問事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内に住所を有する概ね4か月までの乳児がいる家庭のうち、新生児訪問等により地域保健センターが状況を把握している家庭を除くすべての家庭。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	乳児がいる家庭を訪問し、育児に関する不安や悩みを聞き、子育て支援の情報提供を行う。家庭と地域社会をつなぐ最初の機会を提供することで、子育て家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境を確保する。	訪問員が対象家庭を訪問し、下記について実施する。 ①育児に関する不安や悩みを聞き、助言等の支援を行う。 ②子育て支援に関する情報提供を行う。 ③乳児及び保護者の心身の様子と養育環境を把握する。 ④支援が必要と判断した家庭を適切な関係機関につなぐ。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	出生届出受理件数3,933件のうち、転入等による増減により実際の対象者は4,002件であった。新生児訪問を受けずに当課の訪問対象となったのは184件であり、183件(99.5%)の家庭を訪問し面談を行った。	子育て支援の情報提供をすることで、家庭の孤立化を防ぎ、支援が必要と思われる家庭については、関係機関と連携し健全な育成環境の確保に向けての支援をした。面談が実施できなかった家庭については、国内外に里帰りしていることを確認したり、保育所や幼稚園等や学校、地域保健センターと連携し、養育環境の把握に努めた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	5 目	2 細目	3 細々目	乳児家庭全戸訪問事業			
年度		令和3年度		令和4年度			令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		2,981		3,277			6,254		0		0	
決算額(B)=(C)+(D)		2,926		2,115			5,704					
財 源 ※	特定財源(C)	1,400		0			1,992		0			
	一般財源(D)	1,526		2,115			3,712		0			
概算人件費(E)		34,840		33,750			34,050		0		0	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	6.00	1.50	6.00	1.50	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		37,766		35,865			39,754		0		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	令和6年度より地域保健センターに移管となる。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	発達相談支援事業			担当	子ども部	
					子育て相談課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	26	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	1 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	発達障害者支援法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	発達に特性のある児童及びその保護者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	子どもの発達に不安をもつ保護者が、安心して相談できる相談機関として、福祉、教育、保健、医療が連携し、切れ目のない支援と、発達に特性のある子どもを地域全体で支えるための基盤整備を行うことで、児童の福祉の向上を図ることを目的とする。		発達相談、子どもの発達に精通した小児科医などの専門職による専門相談、親子教室、保育所等への施設訪問(巡回支援・小学校1年生訪問)等の事業を実施し、関係機関と連携して乳幼児期からの切れ目のない支援を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・新規発達相談者数 854人 ・親子教室実施回数 202回 ・巡回支援訪問回数 99回 ・小学校1年生訪問 48校		発達に特性のある児童及びその保護者に対し、関係機関と連携し、適切な支援を行うことが出来た。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	5 目	3 細目	1 細々目	発達相談支援事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		45,923		43,770		48,428		51,411		57,763
決算額(B)=(C)+(D)		42,856		42,126		46,702				
財源※	特定財源(C)	3,541		3,776		6,967		5,357		
	一般財源(D)	39,315		38,350		39,735		46,054		
概算人件費(E)		91,140		89,020		91,140		85,560		85,560
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	10.60	2.00	10.60	2.00	10.60	2.00	9.60 2.00 9.60 2.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	133,996		131,146		137,842		136,971		143,323

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、親子教室等の集団で行う事業は規模を拡大し、また、支援者向けの講座等は対面式にする等して実施した。相談待機期間が長期化していることから、相談体制を見直すとともに、職員の人員要望を行った。相談件数の増加や複雑化に向けては、引続き関係機関と連携し、支援体制の充実を図る。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子育て支援センター事業				担当	子ども部 保育運営課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 16032	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	児童福祉法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公設公営保育所の地域子育て支援センター		公設公営保育所の地域子育て支援センターを利用する乳幼児及びその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の保護者の孤独感や不安感の増大等に対応するため。		・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・みんなであそぼう 1施設あたり44回 ・0歳児サークル「ぴっころ」 1施設あたり16回 ・ウェルカムあかちゃん 1施設あたり 3回 ・園庭開放 1施設あたり20回		乳幼児をもつ保護者の子育てに対する不安を解消するとともに、子どもの健全育成を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	4 細々目	子育て支援センター事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		6,025		5,967		6,070		6,394		6,394		
決算額(B)=(C)+(D)		5,647		5,573		5,696						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	5,647		5,573		5,696		6,394				
概算人件費(E)		7,900		7,700		7,900		8,100		8,100		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		13,547		13,273		13,596		14,494		14,494		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	施設により参加人数に偏りがあることから、講座内容の工夫や見直しをするほか、事業のPRや広報等について検討していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子どもの生活・学習支援事業				担当	子ども部
						青少年対策室
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1115	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	生活困窮者自立支援法母子及び寡婦福祉法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	委託先:株式会社トライグループ		生活保護世帯、準要保護世帯、ひとり親世帯に属する小学3年生から高校生までの子どもとその保護者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	生活の困窮や様々な問題を抱えた子どもに対し、健全な日常生活の維持、自己肯定感やコミュニケーション能力の向上を通して、将来の社会参加に目標を持った人格の形成に資することを目的とする。		学習教室の開催、訪問支援(家庭訪問等)、食育支援(調理実習、セミナー等)、就労支援(キャリア支援、技能支援)を行う。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	・参加登録者数760名(うち小学生290人、中学生387人、高校生83人) ・学習教室会場数16会場 ・のべ実施回数618回 ・訪問型支援者数4世帯 ・訪問型支援実施延べ回数85回		・高校進学率100%となった。・受験クラスにおいて初の医歯薬理工系の国立大学への入学者を含め、8割を超える高校3年生について第一希望の進路への進学を実現した。・キャリア教育を実施したことにより中学生の進路に対する意識が増加した。・会議を月次にしたことにより支援の中からいじめ・ネグレクト・ヤングケアラーなどの疑いがあった		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	学習教室参加率			指標・目標値の説明(算定式)	学習教室参加率【教室参加者実人数／生活保護世帯・準要保護世帯の対象となる子どもの数】				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		8.00		8.00		8.00		14.00		14.00
	実績値・達成状況	6.60	未達成	11.40	達成	13.60	達成			
指標②	名称	学習教室参加者進学率			指標・目標値の説明(算定式)	学習教室参加者の高校進学率【高校進学者／教室参加者】(参照)学校基本統計によるR1卒業生進路(進学等98.6%就職0.3%無業・不詳1.1%)				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00
	実績値・達成状況	100.00	達成	100.00	達成	100.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	1 目	3 細目	1 細々目	子どもの生活・学習支援事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		83,190		85,254		89,913		99,414		99,414
決算額(B)=(C)+(D)		83,190		85,253		89,902				
財源※	特定財源(C)	41,232		42,248		44,859		49,328		
	一般財源(D)	41,958		43,005		45,043		50,086		
概算人件費(E)		2,370		3,388		3,476		3,564		3,564
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.54	0.00	0.44	0.00	0.44	0.00	0.44
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		83,190		88,641		89,902		102,978		102,978

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	・利用者アンケートにおいて希望されている利用可能回数の増加や会場の選択の幅について、会場の物理的な制限を改善する必要がある。 ・生活保護世帯の利用者数を増やす必要がある。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	母子訪問指導事業			担当	保健部	
					地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1120	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	44	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	母子保健法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	妊産婦とそのパートナー 乳児、幼児とその保護者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	妊娠、出産、育児等に必要な保健指導を行うことにより、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進と育児不安の軽減を図るものである。		・妊娠届出書、出生連絡票、相談等により、対象者を把握する。 ・保健師・助産師等が訪問し、必要な保健指導等を実施する。 ・必要に応じて医療機関等との協議・連携を図る。 ・母子訪問指導従事者向け研修会、事例検討会を実施する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・出生連絡票等で把握した家庭を訪問し、健康・育児相談・養育環境の確認、乳幼児の発育測定等の保健指導を実施した。 ・医療機関等と連携し、必要時継続的支援を実施した。 ・研修会を1回、事例検討会を3回実施した。		・出生連絡票の提出のあった産婦・新生児に対し訪問指導を実施したことで、育児不安の軽減につながった。 ・医療機関等と連携を図ることで、保健指導を必要とする市民に対し、早期に介入することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	産婦・新生児訪問実施率			指標・目標値の説明(算定式)	乳児家庭全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問及び産婦・新生児訪問)の中の産婦・新生児訪問の実施率				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00
	実績値・達成状況	86.20	未達成	87.30	未達成	95.40	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	3 細目	4 細々目	母子訪問指導事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		13,756		20,587		14,450		13,955		14,448		
決算額(B)=(C)+(D)		12,970		18,863		13,751						
財 源 ※	特定財源(C)	9,591		12,749		10,659		11,200				
	一般財源(D)	3,379		6,114		3,092		2,755				
概算人件費(E)		37,920		36,960		25,808		27,687		27,687		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.80	0.00	4.80	0.00	3.22	0.10	3.37	0.10	3.37	0.10
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		50,890		55,823		39,559		41,642		42,135		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
58 ／60	・産婦・新生児訪問の対象者を川口市内に住所を有する生後4か月までの乳児がいる全ての家庭に拡充し、全数把握に努める。 ・訪問指導員の技術向上のため、訪問従事者研修を継続しスキルアップを図る。				翌年度	拡充して実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	母子健康教室事業				担当	保健部
						地域保健センター
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-1120	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	32	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	母子保健法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	妊産婦及び乳幼児とその保護者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・妊娠・出産・育児に関する正しい知識を知り、安心して出産・育児ができる。 ・教室参加により、市民同士の交流を促し、育児をするうえでの不安軽減、孤立を防ぐ。		・妊娠中期の妊婦やその夫(パートナー)に対し、妊娠・出産・育児に関する講義・実習をする。 ・子育て中の親に対して、育児についての講話、実習をする。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、感染予防策を講じた上で、集合形式で教室を開催した。		・集合形式で教室を実施したことで、市民からの相談や質問に即座に対応することができた。 ・地域協定を結んでいる民間施設で両親(母親)教室を実施したため、交通の便も良く、市民の利便性に繋がった。 ・多胎の会は以前は行政のみの実施だったが現在は支援する集いが4か所あり、民間にシフトしたため、令和5年度で終了とした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	教室に参加した実人数			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		4,512.00		4,230.00		8,982.00		6,160.00	
	実績値・達成状況	1,548.00	未達成	4,921.00	達成	5,576.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	4 款	1 項	8 目	3 細目	6 細々目	母子健康教室事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	1,757	2,042		2,249		1,988		2,663		
決算額(B)=(C)+(D)	1,041	1,457		1,778						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,041		1,457		1,778		1,988		
概算人件費(E)		25,280		24,640		25,280		28,254		28,254
従事職員人数(人)		常勤	再任用	3.20	0.00	3.20	0.00	3.74	0.10	3.44 0.10 3.44 0.10
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		26,321		26,097		27,058		30,242		30,917

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	・教室の内容・意義を再度検討し、参加者のよりニーズに即した実施を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業				担当	学校教育部	
						指導課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 18812	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	31	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-① 子育て支援の充実					
根拠法令等	学校教育法、川口市就学援助要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	経済的理由により就学が困難と認められる、市内在住で市立小中学校及び国立・公立小中学校に通学する児童生徒の保護者(世帯)		経済的理由により就学が困難と認められる、市内在住で市立小中学校及び国立・公立小中学校に通学する児童生徒及びその保護者(世帯)	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費などの援助を行なうことで、義務教育の円滑な実施に資すること。		保護者からの申請に基づき、所得状況などから認定を行い、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費を支給することにより、就学費用の一部を援助する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	対象者に対し、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費の支給を行った。また、新入学用品費については入学前支給を実施した。 *学用品費、通学用品費、校外活動費については支給額を国庫補助の基準に合わせ引き上げた。		経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、適正に援助を行うことにより、当該児童生徒の就学に係る経済的な負担の軽減を図り、義務教育の円滑な実施に資することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	1 項	3 目	3 細目	8 細々目	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		257,108		252,538		244,055		273,718		273,718		
決算額(B)=(C)+(D)		244,582		239,024		233,857						
財源※	特定財源(C)	2,472		2,302		2,198		2,711				
	一般財源(D)	242,110		236,722		231,659		271,007				
概算人件費(E)		15,800		15,400		15,800		16,200		24,300		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	3.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		260,382		254,424		249,657		289,918		298,018		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	物価の高騰等により、他市町村や国庫補助の基準と比較して支給額に差が開いていることから、新入学用品費については、令和6年度から支給額の引き上げを行う。今後も、援助を必要とするすべての家庭に対し、公平かつ継続的に援助を行うため、適正な制度設計を行っている。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和5年度

事業名称	病児・病後児保育事業				担当	子ども部	
						子育て支援課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1112	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実					
根拠法令等	病児・病後児保育事業実施要綱、子ども・子育て支援交付金交付要綱、川口市病児・病後児保育事業実施要綱等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	委託先医療機関等:医療法人 久恩会 下条医院、有限会社ロード、EXLIFE(株)、医療法人社団Sunny 民間の訪問型病児・病後児保育等を利用した小学校6年生までの児童とその保護者	市内に居住する病気または病気の回復期の生後8週から小学校6年生までの児童と子育てと仕事の両立を図りたい保護者等。	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	安心して子育てができる環境を整備し、もって児童福祉の向上を図る。	・児童が病気または病気の回復期であり、集団保育もしくは自宅での保育が困難な期間、または、保護者が仕事、病気、冠婚葬祭等により看護ができない際一時的にその児童を預かる。 ・民間の訪問型病児・病後児保育等を利用した際の利用料に対し、補助金を交付する。(補助額:1時間当たり 1,000円を上限)	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・病児・病後児保育の実施が可能な市内の医療機関等に業務を委託し、児童の預かりを実施した。・令和4年度の公募型プロポーザルで選定した新規開設事業に対し、普及定着促進を目的に、施設の改修費補助を実施した。・訪問型病児・病後児保育を利用した方に対し、助成金を交付した。	・病児・病後児保育事業を実施することにより、保護者が安心して仕事と子育てを両立できる環境の整備が図られた。 ・民間事業者が実施する訪問型病児・病後児保育を利用した際の利用料を補助し、保護者の負担軽減が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	実施箇所数				指標・目標値の説明(算定式)	病児・病後児保育実施施設数。川口市子ども・子育て支援事業計画に掲載されている目標値を設定。								
	単位	箇所	指標の種別	活動											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
		4.00			4.00			4.00			4.00			0.00	
		実績値・達成状況		3.00	未達成	3.00	未達成	4.00	達成						
指標②	名称	利用延べ人数				指標・目標値の説明(算定式)	策定済の川口市子ども・子育て支援事業計画に掲載されている目標値を設定。								
	単位	人	指標の種別	結果											
	目標値	令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度	
		1,330.00			1,330.00			1,330.00			1,330.00			0.00	
		実績値・達成状況		781.00	未達成	1,632.00	達成	2,382.00	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	3 細目	6 細々目	病児・病後児保育事業		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		36,077		47,518		62,674		60,498		60,498	
決算額(B)=(C)+(D)		33,193		45,063		59,670					
財源※	特定財源(C)	23,086		27,576		39,104		38,898			
	一般財源(D)	10,107		17,487		20,566		21,600			
概算人件費(E)		790		770		3,792		3,240		3,240	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.48	0.00	0.40	0.00
										0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		33,983		45,833		63,462		63,738		63,738	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	令和5年7月から川口駅前に新たな施設を開設したことにより、計画上の目標施設数は達成した。事業者たる医療機関の協力が必要不可欠であり、継続的な事業運営には事業者の収益安定性の確保が必要である。また、利用者と事業者への利便性の向上を図るため、予約システムの環境整備を行う必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	保育所運営費				担当	子ども部 保育運営課
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	258-1110 16011	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実		
根拠法令等	児童福祉法、保育所保育指針		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公設公営保育所	公設公営保育所に入所している児童及びその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	保育を必要とする子どもの健全な心身の発達を図るため、公設公営保育所において児童福祉法に基づく健全な保育所運営を実施するもの。	・安全・安心な保育所の運営 ・保育士研修事業の実施	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・代替保育士及び派遣保育士の配置 ・保育に必要な消耗品や教材用具、備品等の購入 ・保育に必要な給食業務委託等の実施 ・保育所業務システムの維持管理 ・保育士を対象にオンライン研修を年15回実施 ・川口市医療的ケア児審査委員会を年1回開催	保育士を適正に配置し、ICTの活用やオンライン研修の実施により保育士の業務負担軽減を図ったことにより、保育士が保育により専念できる環境を整えることができた。また、保育に必要な物品の購入や委託等の実施により安全・安心な保育所運営を行うことができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保育士配置率			指標・目標値の説明(算定式)	公設公営保育所の入所児童に対する配置基準を満たした保育士の適正な配置率			
	単位	%	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
	実績値・達成状況	100.00	達成	100.00	達成	100.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	3 目	4 細目	1 細々目	保育所運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		1,244,660		1,242,787		1,247,107		1,313,669		1,313,669
決算額(B)=(C)+(D)		1,203,124		1,204,988		1,219,494				
財源※	特定財源(C)	137,506		136,895		129,373		126,249		
	一般財源(D)	1,065,618		1,068,093		1,090,121		1,187,420		
概算人件費(E)		23,700		23,100		23,700		24,300		24,300
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00	3.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,226,824		1,228,088		1,243,194		1,337,969		1,337,969

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	昨今の保育士不足により、公設公営保育所についても職員(正規)を補うために必要な保育士の人数の確保が困難な状況にある。会計年度任用職員制度による保育士を広報誌等で広く募集し、派遣保育士の活用等も含め適正な保育士の人数を確保し、安全・安心な保育所運営を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	民間保育所運営費				担当	子ども部 保育運営課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1110 16032	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実				
根拠法令等	職員の資質向上・人材確保研修事業の実施について(こ成第350号 令和6年3月30日 こども家庭庁成育局)				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認定こども園、保育所(公設公営を除く)、小規模保育事業所、事業所内保育事業所及び居宅訪問型認可外保育施設(ベビーシッター)の保育従事者	保育所等を運営する事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	保育所等の保育内容の充実、質の向上を図る。	・保育従事者に対して年に1回、講義3日間の研修を実施	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・保育従事者6名に対して講義3日間の研修を1回実施	保育従事者の専門性を向上し、児童のより良い成長発達が期待できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	3 項	3 目	4 細目	3 細々目	民間保育所運営費			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			754		726		726		682		682		
決算額(B)=(C)+(D)			660		605		537						
財 源 ※	特定財源(C)		330		302		268		341				
	一般財源(D)		330		303		269		341				
概算人件費(E)			1,580		1,540		1,580		1,620		1,620		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			2,240		2,145		2,117		2,302		2,302		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	周知のタイミングや申請方法を工夫し、受講者にできるだけ負担のないように努めていきたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	保育所指定管理者管理運営費			担当	子ども部	
					保育幼稚園課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	271-9336	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実				
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公設民営保育所を運営する事業者		公設民営保育所に入所している児童及び保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公設民営保育所の施設の健全な運営と児童・職員の処遇改善を図るため。		公設民営保育所15園に対し、委託費及び特別保育等の補助金相当分の支出業務。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	指定管理者が公設民営保育所を管理運営するための経費の支出を行った。		公設民営保育所において、事業所に勤務する職員の処遇改善と同時に経営の安定化を図れた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	3 目	4 細目	2 細々目	保育所指定管理者管理運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		1,886,588		1,965,888		2,084,975		2,036,615		2,200,834
決算額(B)=(C)+(D)		1,776,834		1,962,868		2,062,330				
財源※	特定財源(C)	244,227		321,731		301,109		269,806		
	一般財源(D)	1,532,607		1,641,137		1,761,221		1,766,809		
概算人件費(E)		15,800		15,400		15,800		15,800		15,800
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,792,634		1,978,268		2,078,130		2,052,415		2,216,634

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	待機児童解消に向け、施設整備を図るほか、保育士の処遇改善、人材確保に対する事業等を実施した。今後も、効率的な保育所の運営や人材確保策、財源の確保について検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	民間保育所運営費			担当	子ども部 保育幼稚園課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	271-9336	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実				
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	民設民営保育所及び地域型保育事業所(小規模・事業所型)を運営する事業者	民設民営保育所及び地域型保育事業所(小規模・事業所型)に入所している児童及び保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	民設民営保育所及び地域型保育事業所(小規模・事業所型)の施設の健全な運営と児童・職員の処遇改善を図るため。	地方自治体以外の者が設置する保育所等における保育の実施に要する費用の支弁、ならびに特別保育事業等の実施に要するための補助金の交付。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	民設民営保育所及び地域型保育事業所(小規模・事業所型)を運営する事業者に対し、保育の実施に要する費用の支援及び補助金の交付を行った。	民設民営保育所及び地域型保育事業所(小規模・事業所型)において、職員の処遇改善や経営の安定化が図れた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	3 目	4 細目	3 細々目	民間保育所運営費			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		12,205,855		12,677,895		13,300,239		13,437,998		15,499,202		
決算額(B)=(C)+(D)		11,569,207		12,494,945		13,189,977						
財源※	特定財源(C)	7,972,306		9,024,846		9,547,554		9,465,975				
	一般財源(D)	3,596,901		3,470,099		3,642,423		3,972,023				
概算人件費(E)		31,600		30,800		31,600		31,600		31,600		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		11,600,807		12,525,745		13,221,577		13,469,598		15,530,802		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	待機児童解消に向け、施設整備を図るほか、保育士の処遇改善、人材確保に対する事業等を実施した。今後も、効率的な保育所の運営や人材確保策、財源の確保について検討が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

事業名称	認可外保育施設事業			担当	子ども部	
					子ども総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	271-9457	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実					
根拠法令等	児童福祉法、川口市企業内保育室支援補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	一定の要件を満たす企業内保育室を運営する事業者		企業内保育室を利用している児童及び保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	運営する事業者の負担を軽減し、企業内保育室の運営の充実を図る。		企業内保育室の運営に要する経費の一部を補助する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	企業内保育室の運営に係る消耗品又は備品の購入に対する補助金を事業者(9法人、11施設)へ交付した。(1施設あたり上限年額78,000円)		企業内保育室の保育環境を整備することで、仕事と子育ての両立支援及び待機児童の解消に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	3 項	1 目	11 細目	1 細々目	認可外保育施設事業		
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)			1,404		1,170		1,092		1,092		936	
決算額(B)=(C)+(D)			858		842		804					
財源※	特定財源(C)		0		0		0		0			
	一般財源(D)		858		842		804		1,092			
概算人件費(E)			790		770		790		810		810	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			1,648		1,612		1,594		1,902		1,746	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	9 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	待機児童数の推移を注視するとともに、国が主導する企業主導型保育事業と整合性を図りながら今後も事業を継続する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	認可外保育施設事業				担当	子ども部 保育運営課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 16032	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 5 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実
根拠法令等	児童福祉法

2 事業概要

事務分類		実施形態	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認可外保育施設(居宅訪問型)	認可外保育施設(居宅訪問型)の事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	認可外保育施設の保育の質の向上及び安全性の確保を図り、児童の福祉の推進に寄与するため。	・認可外保育施設(居宅訪問型)に対して年に1回、立入調査(集団指導)として研修を実施	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・認可外保育施設(居宅訪問型)13名に対して講義1日の研修を実施	認可外保育施設(居宅訪問型)の保育の質の確保、向上が期待できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目												
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)			0		0		521		758		758	
決算額(B)=(C)+(D)			0		0		473					
財源※	特定財源(C)		0		0		236		378			
	一般財源(D)		0		0		237		380			
概算人件費(E)			0		0		7,900		8,100		8,100	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			0		0		8,373		8,858		8,858	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	受講人数が少ないため、周知方法や研修時期を見直し、受講しやすい環境づくりを検討していく。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	子育てのための施設等利用給付事業			担当	子ども部 保育幼稚園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	271-9336	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実
根拠法令等	子ども・子育て支援法

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	認可外保育施設、一時預かり事業、ファミリーサポート・センター事業、病児・病後児保育事業を利用している児童の保護者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	少子化の進行並びに幼児教育および保育の重要性に鑑み、子育て家庭の経済的負担を図るため、市の確認を受けた幼児教育および保育等を行う施設等の利用料給付を行うもの。	施設等利用費の給付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	保育の必要性の認定(利用給付2号・3号)を受け、認可外保育施設、一時預かり事業、ファミリー・サポート・センター事業、病児・病後児保育事業を利用した児童の保護者に対し、補助金の支出を行った。	認可外保育施設等を利用する児童の保護者に対し、経済的負担軽減を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	3 款	3 項	1 目	4 細目	1 細々目	子育てのための施設等利用給付事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	168,750	115,135		107,954		66,180		63,144		
決算額(B)=(C)+(D)	109,950	106,506		99,985						
財源※	特定財源(C)	63,949		44,143		46,730		49,335		
	一般財源(D)	46,001		62,363		53,255		16,845		
概算人件費(E)		15,800		15,400		15,800		15,800		15,800
従事職員人数(人)		常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		125,750		121,906		115,785		81,980		78,944

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	令和元年10月から実施された幼児教育保育の無償化による影響を受けた保育ニーズの動向に注視し、今後も継続して保護者の経済的負担に対する支援を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	認可外保育施設事業				担当	子ども部 保育幼稚園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	271-9336,258-4097	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実
根拠法令等	川口市認可外保育施設補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(1)認可外保育施設を運営する事業者 (2)認可外保育施設を利用する世帯	認可外保育施設に入所している児童及び保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	(1)認可外保育施設の施設の健全な運営を図るため。 (2)保護者の経済的負担を軽減するため。	(1)認可外保育施設における保育の実施に要する費用に対する補助金の交付。 (2)認可外保育施設を利用する世帯に対し、その施設の利用料の一部を補助するもの。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	認可外保育施設を運営する事業者に対し、補助金の交付を行った。 認可外保育施設を利用する世帯に対し、その施設の利用料の一部に対して補助金の交付を行った。	保護者の負担軽減を図るほか、待機児童対策、多様な保育サービスに対応し、保育環境を総合的に推進することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算額(A)		69,640	38,677	32,423	14,940	15,010
決算額(B)=(C)+(D)		52,096	31,561	21,022		
財源※	特定財源(C)	4,553	4,372	7	40	
	一般財源(D)	47,543	27,189	21,015	14,900	
概算人件費(E)		7,900	7,700	7,900	7,900	7,900
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		59,996	39,261	28,922	22,840	22,910

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	多様な保育サービスの利用に対する支援、待機児童解消のための役割を果たしているが、財源の確保について検討が必要である。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	管外保育事業			担当	子ども部 保育幼稚園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	271-9336	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実				
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市外の認可保育施設を運営する自治体または事業者	市外の認可保育施設に入所している児童及び保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	保護者の通勤等の事情により、市外の認可保育施設の利用を希望する場合に、利用希望施設が所在する自治体に対して保育の実施を委託することにより、保護者の保育ニーズに応えとともに、当該児童の福祉の向上を図る。	利用希望施設が所在する自治体との協議。 保育の実施の委託。 保育の実施に要する費用の支弁。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	保護者の通勤等の事情により、市外の認可保育施設の利用を希望する場合に、利用希望施設が所在する自治体に対して保育の実施を委託することにより、保護者の保育ニーズに応えとともに、当該児童の福祉の向上を図る。	保護者の保育ニーズに応えとともに児童の福祉の向上が図られた。 また、市外の特定教育・保育施設又は特定地域型保育事業所に保育の実施を委託することにより、市内の待機児童の減少を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	3 項	3 目	5 細目	1 細々目	管外保育事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			211,205		190,570		232,698		167,030		225,839		
決算額(B)=(C)+(D)			189,788		168,005		232,600						
財源※	特定財源(C)		132,626		123,096		118,356		110,224				
	一般財源(D)		57,162		44,909		114,244		56,806				
概算人件費(E)			9,480		9,240		9,480		9,720		9,720		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			199,268		177,245		242,080		176,750		235,559		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	他の自治体による施設整備や、保護者の通勤の事情等、管外保育ニーズは増加傾向であり、本市の待機児童の受け皿を担っている。しかしながら、その委託事務は、自治体ごとに利用協議等の詳細な把握が必要であり複雑なほか、委託費の請求事務も増加しているため、その事務負担の軽減策が必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	家庭保育室事業			担当	子ども部 保育幼稚園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	271-9336	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	43	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-② 保育環境の充実						
根拠法令等	川口市家庭保育条例、川口市家庭保育条例施行規則						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市に登録した家庭保育室の運営者		家庭保育室に入室している児童及び保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	認可外保育施設を家庭保育室として登録し、保育需要の高い0歳児から2歳児までの乳幼児の保育を実施することにより、保護者の保育ニーズに応えるとともに、当該乳幼児の福祉の向上を図る。		保育の実施の委託。 家庭保育室に対する指導監督。 家庭保育室の運営に要する経費の補助。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	乳幼児の保育の実施を委託した。 家庭保育室の運営に要する経費の補助を行った。		保護者の保育ニーズに応えるとともに児童の福祉の向上が図られた。 また、家庭保育室に保育の実施を委託することにより、市内の待機児童の減少を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	9 目	1 細目	1 細々目	家庭保育室事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		39,143		6,002		7,147		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)		17,214		4,702		4,640						
財 源 ※	特定財源(C)	89		0		0		0				
	一般財源(D)	17,125		4,702		4,640		0				
概算人件費(E)		7,900		7,700		7,900		0		0		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		25,114		12,402		12,540		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	保護者の就労等の理由により、家庭で保育ができない乳幼児の保育を実施することにより、保護者が就労等に専念できるとともに乳幼児の福祉の充実を図り、併せて、市に登録した家庭保育室の健全な運営と児童・職員の処遇改善を図ることを目的としていたが、令和6年3月31日をもって廃止。	翌年度	廃止
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	ヤングケアラー支援事業				担当	子ども部	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-258-1153	新規・継続	子育て相談課	
						新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	5	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-③ 児童の健全な育成					
根拠法令等	子ども・若者育成支援推進法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本来、大人がすると想定されているような家事や家族の世話などのケアを日常的に担う18歳以下の児童。		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ヤングケアラーは年齢や成長の度合いに見合わない重い責任を負うことで、本人の育ちや教育に影響が及ぼされる可能性があることから、身体的・精神的・経済的支援を実施することで、家庭や養育環境を整える。		ヤングケアラー・コーディネーターを配置し相談支援を行うほか、支援員を派遣し家事や育児を代行する家事等支援、ヤングケアラー自らが必要とするものに活用するための応援金を支給する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	ヤングケアラー相談 72件(実70人)		家事等支援や応援金の支給により、ヤングケアラーの日常生活における負担を軽減することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	5 目	2 細目	5 細々目	ヤングケアラー支援事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		0		0		7,220		10,060		8,678		
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		4,629						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		2,082		2,803				
	一般財源(D)	0		0		2,547		7,257				
概算人件費(E)		0		0		7,900		8,100		8,100		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		12,529		18,160		16,778		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
52 /60	自分自身がヤングケアラーであるという認識がないことや、ヤングケアラーだと手を挙げづらい状況があることから、学校や児童生徒に対してSNSなども活用した情報発信による周知・啓発を行う。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	放課後児童健全育成事業				担当	子ども部 青少年対策室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1115	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	5	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-③ 児童の健全な育成					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市の放課後児童クラブに従事している人、川口市在住の他市町村で放課後児童クラブに従事している人、川口市在住で放課後児童クラブに従事したい人		放課後児童健全育成事業者・利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	放課後児童健全育成事業の質の向上を図ることを目的とする。		放課後児童支援員認定資格研修	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	9月10日、16日、18日、23日に44名の参加により開催。		40名の方が研修を終了し、放課後児童支援員としての資格を得た。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	放課後児童支援員認定資格取得者数				指標・目標値の説明(算定式)	資格取得者数					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		—		—		40.00		40.00		40.00		
	実績値・達成状況	—	—	—	—	40.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目											
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		0		0		5,390		360		360	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		1,484					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	0		0		1,484		360			
概算人件費(E)		0		0		2,528		1,458		1,458	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0		0		4,012		1,818		1,818	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
52 ／60	認定資格研修参加者数の向上を図るため、より多くの対象者が研修に参加できるよう、受講機会の増や積極的な周知を行っていく。		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	児童センター指定管理者管理運営費				担当	子ども部	
						青少年対策室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1115	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-③ 児童の健全な育成					
根拠法令等	児童福祉法第35条第3項、同第40条、地域子育て支援拠点事業実施要綱等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	指定管理者:株式会社コマーム 社会福祉法人 川口市社会福祉事業団		児童(18歳未満)及びその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童に健全な遊びの環境を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするため、児童に対し集団的又は個別的な遊びの指導、その他児童の健全な育成に必要な活動を行うことを目的とする。		芝兒童センター、南平兒童センター、戸塚兒童センターの3館の運営を指定管理者制度により行った。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	各館とも、児童の遊びを指導する者(児童厚生員)が遊びの指導を行うとともに、行事や親子教室、地域との連携事業を実施した。		有資格者が遊びの指導を行うことにより、児童の健康増進と情操を豊かにする活動など児童健全育成を図ることが出来た。 また、乳幼児と保護者の交流の場を提供することで、子育て不安の解消となるなど子育て支援にもつながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(児童センター)				指標・目標値の説明(算定式)	第5次総合計画の前年度である平成27年度の利用状況を勘案し、目標値を設定した。					
	単位	人		指標の種別	結果							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
		140,000.00		140,000.00		140,000.00		140,000.00		140,000.00		
	実績値・達成状況	62,400.00	未達成	63,714.00	未達成	81,610.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位			指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	2 細目	1 細々目	児童センター指定管理者管理運営費		
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		66,104		65,845		65,845		65,845		65,845	
決算額(B)=(C)+(D)		65,845		65,845		65,845					
財 源 ※	特定財源(C)	15,452		13,631		14,115		16,023			
	一般財源(D)	50,393		52,214		51,730		49,822			
概算人件費(E)		3,081		3,003		3,081		3,159		3,159	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.39	0.00	0.39	0.00	0.39	0.00	0.39	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		68,926		68,848		68,926		69,004		69,004	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	施設の老朽化に伴う管理が課題であるため、各施設との連携を密に行い、適正な管理に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	アドベンチャープレイ事業				担当	子ども部
						青少年対策室
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1115	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-③ 児童の健全な育成					
根拠法令等	アドベンチャープレイ事業実施要項					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	児童及び保護者		同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	子どもたちへ豊かな遊びの継承と、子どもたちの冒険心・好奇心を刺激し、自主性・創造性・社会性を高め児童の健全な育成を図ることを目的とする。		前川第6公園に、築山・プレイリーダーハウス、南平児童交通公園に、プレイリーダーハウスを設置し、遊びの指導者となるプレイリーダー(市民ボランティア)による遊びの指導を行う。その他、各種イベント等(こどもまつり・わんぱくまつり・新春伝承あそびまつり)を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	年間通常開所(前川プレイリーダーハウス、南平プレイリーダーハウス)197日 こどもまつり(8月5日)光化学スモッグ注意報発令により午後中止 焼き芋大会(11月5日)降雨により終了時間繰り上げ 新春伝承遊びまつり(1月20日)降雨により午後中止		子どもの体力増加など健康で健全な育成に必要な外遊びに繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数(アドベンチャープレイ)			指標・目標値の説明(算定式)	1,500人×12ヶ月×2カ所+4,200人(イベント)			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		40,200.00		40,200.00		40,200.00		40,200.00	
	実績値・達成状況	43,224.00	達成	37,738.00	未達成	40,937.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	2 細目	2 細々目	アドベンチャープレイ事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		9,873		9,837		15,658		10,522		10,522		
決算額(B)=(C)+(D)		8,646		8,971		13,051						
財 源 ※	特定財源(C)	0		0		4,000		0				
	一般財源(D)	8,646		8,971		9,051		10,522				
概算人件費(E)		2,370		5,236		5,372		5,508		5,508		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.68	0.00	0.68	0.00	0.68	0.00	0.68	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,646		14,207		13,051		16,030		16,030		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	・新規ボランティア獲得方策の検討を行う。 ・開所から永年経過している施設改修についての検討を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	鳩ヶ谷子ども館事業				担当	子ども部
						青少年対策室
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1115	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	23	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-③ 児童の健全な育成					
根拠法令等	地域子育て支援拠点事業実施要綱、子ども・子育て支援交付金交付要綱、埼玉県地域子育て支援拠点事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	委託先:株式会社 コマーム	児童(18歳未満)及びその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	児童に健全な遊びの環境を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするため、児童に対し集団的又は個別的な遊びの指導、その他児童の健全な育成に必要な活動を行うことを目的とする。	児童に対する集団的又は個別的な遊びの指導 遊びによる子どもの育成 子どもの居場所の提供 子どもが意見を述べる場の提供	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	遊べる場の提供 図書の貸し出し アートクラブ(絵画教室)開催 子ども館人形劇 おやこの遊びひろば 冬まつり	有資格者が遊びの指導を行うことにより、児童の健康増進と情操を豊かにする活動など児童健全育成を図ることが出来た。 また、乳幼児と保護者の交流の場を提供することで、子育て不安の解消となるなど子育て支援にもつながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間利用者数(鳩ヶ谷子ども館)			指標・目標値の説明(算定式)	第5次総合計画の前年度である平成27年度の利用状況を勘案し、目標値を設定した。			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		36,000.00		36,000.00		36,000.00		36,000.00	
	実績値・達成状況	11,379.00	達成	11,759.00	未達成	15,422.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	3 項	4 目	2 細目	3 細々目	鳩ヶ谷子ども館事業			
年度			令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)			15,905		15,921		16,004		13,238		15,704		
決算額(B)=(C)+(D)			15,807		15,917		15,617						
財 源 ※	特定財源(C)		1,644		1,846		1,678		0				
	一般財源(D)		14,163		14,071		13,939		13,238				
概算人件費(E)			1,027		924		948		972		972		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			16,834		16,841		16,565		14,210		16,676		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	市民のニーズを把握し、実態に応じた改善を図る柔軟性が必要になるため、受託業者との連携を強化する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	放課後児童クラブ施設運営費			担当	学校教育部	
					学務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7659	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	41	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-2 健やかな子育て・子育て環境づくり-③ 児童の健全な育成					
根拠法令等	児童福祉法、社会福祉法、川口市放課後児童クラブ条例、川口市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	保護者が労働等により昼間家庭にいない市内在住の小学生	対象児童及びその保護者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	適切な遊び及び生活の場を提供し、対象となる児童の健全な育成を図ることを目的としているもの。	①実施場所:市立小学校全52校における余裕教室等 ②実施日:日曜・祝日・年末年始を除く日 ③平日:放課後から午後6時30分まで 土曜日 午前8時30分から午後6時30分まで 学校休業日等(平日) 午前8時から午後6時30分まで ④利用料:月額7千円 ⑤延長利用料:午後6時30分から午後7時 月額2千円	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	市内52校に設置している放課後児童クラブにおいて、小学校1年生から6年生までで、申請のあった児童のうち利用要件を満たした児童を預かった。また、学校の長期休業中における弁当提供(有料)を令和5年度の冬休みから開始した。さらに、戸塚北小学校放課後児童クラブにおいて、教室棟と併せ、新たなプレハブを整備した。	各クラブ室において利用要件を満たした児童全てを預かり、生活の場及び適切な遊びを提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	待機児童数			指標・目標値の説明(算定式)	申請のあった児童のうち待機となった児童数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	0.00	達成	0.00		0.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	1 項	5 目	1 細目	1 細々目	放課後児童クラブ施設運営費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		1,313,113		1,330,208		1,451,980		1,497,931		1,600,000
決算額(B)=(C)+(D)		1,227,596		1,281,951		1,408,591				
財源※	特定財源(C)	426,149		878,506		929,461		970,779		
	一般財源(D)	801,447		403,445		479,130		527,152		
概算人件費(E)		39,500		38,500		55,300		64,800		64,800
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	7.00	0.00	8.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,267,096		1,320,451		1,463,891		1,562,731		1,664,800

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	コロナ禍以前に戻り、児童クラブの登録児童数は大幅に増加している。また、学校・地域によっては35人学級の実施に伴う余裕教室不足や保護者の就労形態の多様化に伴うニーズの多様化を考慮すると、公設民営のみでなく、学校敷地外での整備・確保についても幅広く検討することは急務である。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施